

Challenge

チャレンジ

高性能な位置情報を取得できるGNSS(測位衛星システム)は、いまや産業や生活において欠かせないシステムの一つ。GNSS機器の小型化や高性能化のみならず、付随サービスも日進月歩の進化を続けている。コア(世田谷区)は、日本版GPS「みちびき」の高精度測位補強サービス「CLAS」に対応したGNSSマールチ受信機「Cohac∞ Ten」を開発した。

コア

込みたい企業、自動運転の研究機関など、問い合わせが増えている」と話す。

同社では、機器の販売とともに、みちびきの高精度測位を利用した「GNSS評価分析」「GNSS位置管理」「ドローン測量・点検」に関して、高精度測位ソリューションをパッケージで提案してい

る。ドローンの利用シーンが増える中、正確な自己位置を把握することが重要になる。ドローンソリューション「Cohac∞ ChronoSky」を提供するにあたり、ACSLと共同でみちびきCLASに対応する国産ドローンも開発した。担当者は「位置情報をリアルタイムで写真に記録するため、空中写真測量を実施する際に地上の標定点が不要となり、大幅な作業効率化が期待できる」と強調した。

みちびき 対応受信機 小型軽量化を実現

新たに市場投入した「Cohac∞ Ten」は、大幅な小型軽

量化を実現。受信機は名刺と同等サイズ(従来製品比・体積50%減)。

重量はわずか100g(従来製品比・重量66%減)で、基板単体で

は30gとなり、ドローンなど重量に対する要求が厳しい装置にも搭載が手軽になった。また、1秒間

に100ポイント測位する100

μ出力に対応することで、鉄道や車両など高速移動時の動きも詳細に把握できる点も特徴。担当者によると「受信機単体の価格は30万円程度で、従来機より低価格な設定だ。この価格帯でみちびきのサービスが使えることで、機械メーカーやソリューション開発に組み



▲ACSLと共同開発したみちびきCLAS対応の国産ドローン



▲Cohac∞ Ten